



緊急事態宣言は再延長となりました

いつもありがとうございます。皆さまいかがお過ごしでしょうか、お変わりありませんか？

今年のゴールデンウィークも残念ながら「ステイホーム（お家で過ごそう）」となりました。毎日、コロナウイルス関連のニュースばかりで、もう「疲れた・・・」と感じている方は多いのではないのでしょうか？

3回目となった今回の緊急事態宣言が延長となり、大型店舗（ショッピングモールや映画館、百貨店、娯楽施設）も平日は一部が開店となり、「人の流れ」を止められたとは思えず、政府は最終的には「ワクチン接種が切り札」と位置づけ、医療従事者、高齢者へと接種が進んでいます。

豊中市においても、障害福祉事業従事者はサービスの提供時に利用者と直接接する機会が多く、まん延予防の観点から新型コロナウイルスに係るワクチン接種の優先順位が高いと判断され、ハニー・ビーでもB型、放課後等デイサービス、居宅介護事業所の優先接種を申し込みました。現状としては、1年前よりも新型コロナウイルスについて分かってきたことも多く、以前のような緊張感がなくなってきたのは否めないところです。

大阪府の新型コロナウイルスの新規陽性者数は確実に減ってきました。重症病床使用率も下がってきています。病床等のひっ迫状況は、一時の崩壊寸前の状況からは緩和されてきています。

豊中市の小学校では、今年度もプール指導が中止となりましたが、マスクを着用しての運動が死亡事故や健康被害につながるリスクがあるとの指摘もされ、子どもたちのマスクの着用に関しては、着脱をこどもに判断させるのではなく、大人であるわたしたちが見極めて、「子どもたちの命を守る」ことが大切だと痛感しました。

また今年も、観測史上一番早い梅雨入りとなりました。うとうしい時期、身体、メンタルの負担を軽減できるような暮らしを考えていきましょう。ワクチン接種回数の方が上がってきました。「うつらない」「うつさない」ためにも、ワクチン接種を進めていきたいと思えます。今月もよろしくお祈りします。

5月の活動

- ① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 5月ダイジェスト
- ② 豊中市立走井学校給食センターを見学しました（5/6）
- ③ 第1回社員研修会「コロナ禍の今、地域で起きていること」終了しました（5/20）
- ④ ハニー・ビー ジョブB型 5月ダイジェスト



今後の予定やお知らせ

- ① 令和3年度の第5回料理教室を開催します（6/26）
- ② 「第12回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 | N淡路島2021」の日程を延期します
- ③ 今年も大阪府庁舎管理課の実習に行ってもらいます（8/2～6）
- ④ 特定非営利活動法人ハニー・ビーの第12回定時総会が開催されます（6/24）

あしがき ワクチン接種に向けて

活動報告① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 5月ダイジェスト



5月のそねの活動をお伝えします。5月も緊急事態宣言は続いており、そねのお部屋でもコロナ感染対策を行い、またそねっ子たちにも、「自分の命を守る（自衛）」ことも大切だと、生活動作としての「手洗い・うがい・消毒」を習慣づけられるよう声かけや働きかけをしています。それぞれに距離を置いて元気に活動しています。

これまでは、お部屋で正座をして低い長机での活動が多かったのですが、「お互いの距離がとりにくい」「自分のスペースが理解しづらい」

などがあり、高さのある長机と椅子を使っての療育の環境を整備することとなりました。机にそれぞれの名前を張り付けることで「わたしの場所」での活動がしやすくなってきたように思います。

そねっ子たちは「音楽」（音に親しむ）、ことが大好き。今回も、まずは導入画像を見て理解を進めていきます。カスタネットを使ってリズムを取るのですが、お手本の画像を見ながらみんなで音をそろえました。耳と目で理解をし、手を動かした活動は記憶にも残ると言われています。その後は、お茶を飲んで、ホッと一息つきました。飛んだり跳ねたりが大好きなそねっ子ですが、活動も「静と動」というメリハリをつけ、併せて学習に取り組みやすい環境を整備していきます。



はっとりでは、5月の活動プログラムで「避難訓練」と「野菜の苗植え」に取り組みました。まずははっとりのお部屋で真剣な面持ちで指導員の説明を聞き、メンバーは指示された動きをしています。何度も何度も繰り返すことで、「自分の命を守る」「自分も人も大切にすること」にも繋がっていくものと思っています。

また、「野菜の苗植え」も、毎年恒例になっている活動プログラムです。今は未だ未だ会話を楽しみながらの食事は難しいですが、はっ通りのメンバーも食べることが大好きです。生きていくうえで「食に興味を持つ」「土に触れる」ことは、自立するうえで大切なことだと思っています。水を与え世話をすることで収穫の喜びを実感して欲しいと思っています。



有り難うございました。次回も楽しい活動のご報告が出来ますように…。

【お問い合わせ マイ児童デイサービス 電話：06-6152-8991 FAX：06-6152-8992
マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

活動報告② 豊中市立走井学校給食センターを見学しました（5/6）



ステイホームだったゴールデンウィーク明けの5月6日、走井学校給食センターの見学に行ってきました。走井学校給食センターでは、小学生たちの栄養管理はもちろんのこと、常に食中毒予防、異物混入防止を考え、設備や動線を確保しています。何よりも安心して食べられる給食作りを目指しているとのことでした。

また、美味しいものを提供したいと、コロッケなどは化学調味料が入っていないもの、カレーやシチューなどの人気メニューも市販のルーを使わないでお手製ルーを作って提供されているとか、何よりも「楽しく、おいしく給食を食べて欲しいから」と、その強い気持ちが伝わってきます。と同時に様々な工夫がされていました。給食の食器も味気ないアルミのものではなく、また豊中市のキャラクターマチカネくんがプリントされていたりと、わたしの想像を超える給食づくりに熱意を持った人たちが支えられた現場と感じました。そんな給食センターを持つ豊中で、障がいのある彼らが「職場体験できる場所はないか。」「地元で働くことが出来る職場がないか。」すべてのお仕事をこなすことは難しくても、個別の配慮をしながらも「出来ること（仕事）」で、人の役に立つことが出来たら…との思いから、今回走井学校給食センターお訪ねしました。



色々な調整は必要かと思えますし、障がい者さんがチャレンジするにはいくつかの課題もありますが、可能性はゼロではないと思います。ご対応いただき、有り難うございました。

【お問い合わせ ハニー・ビー ジョブB型 電話06-6398-9500 FAX06-6398-9535】

活動報告③ 第1回社員研修会「コロナ禍の今、地域で起きていること」終了しました（5/20）

昨年度は、1回目の緊急事態宣言が発出されていることもあり、残念ながら中止となった毎年恒例の大阪府子ども家庭サポーター 辻由起子先生を講師に迎えての講演会を、急遽コロナ対策に万全を期して、「コロナ禍

の今、地域で起きていること～気軽な助け合いのススメ～という演題で曾根事業所で午前10時より約2時間ご講演いただきました。本来ですと、保護者との交流会を兼ねてということで保護者の方も一緒に拝聴いただく予定としていましたが、緊急事態宣言が延長され、当初予定していました会場の中央公民館が臨時休館となり、変更となった曾根事業所では会場が狭く交流会の開催は難しく、お申し込みいただいた皆さまにはご辞退をお願いしました。申し訳ございませんでした。(またの機会に、是非ともご参加ください。)



コロナ禍で、わたしたちの生活習慣も大きく変わりました。その中で、「人との関わり」が問われています。どう生きるか、一緒に考える機会をいただきました。いつも先生のご講演をお聞かせいただいていることは、「人は、ひとりでは生きていけない。だから温かい社会を作る。」という共通した思いがあり、共感することばかりでした。「受援力(じゅえんりょく) (他者に助けを求め快くサポートを受け止める力)。「人生、自分で決めて自分を生きる。」改めて、「みんなにやさしい共生社会の実現」を目指していこうと心に決めました。辻先生、有り難うございました。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話:06-6152-7389 FAX:06-6152-7348】

活動報告④ ハニー・ビージョブB型 5月ダイジェスト



「おはようございます!」ハニー・ビージョブの朝は、いつも元気な挨拶から始まります。20名の利用者さんが自分のことは自分でしようと『将来の自立(自律)』をめざして切磋琢磨し、作業に従事しています。それぞれの利用者さんが、送迎車でのお迎えや自力でハニー・ビージョブにやってきます。

今は、コロナ禍の中ですので、「地域のお祭り」や「イベント」などもありません。とはいえ、お仕事がないから遊んでいてもらうという訳にもいきません。5月からコロナ禍で作業が滞っている豊中市のふれあい広場 SEED の花苗の作業をさせていただいています。職員さんの話をうかがい、慎重に小さな苗をポットに移していきます。まだまだ、おぼつかない手つきではありますが、「みんなにさせていただいた作業で出来た花苗が、市内の公園で沢山の人を癒すんだよ。」と説明すると、なんだかとっても嬉しそうです。



やはり「人のために働く」って利用者さんにとって、自分たちがやったことが「見える」のが良いですね。「次は、手際よく作業をしたい」と気持ちは前向きです。

【お問い合わせ ハニー・ビー ジョブB型 電話06-6398-9500 FAX06-6398-9535】

お知らせ① 令和3年度「第5回サポートが必要な子どもたちとの料理教室」を開催します(6/26)



今年度の第5回料理教室は、初回を5月29日に始める予定でしたが、緊急事態宣言発令中ということもあり中止とし、6月26日の料理教室を初回として開催したいと思います。当たり前のことですが、感染対策に万全を期して密を避け2グループに分けて開催します。

コロナ禍で今も色々なことが中止や延期となっていて、こどもたちも何だか「ストレス発散の場がない。」ように感じていて、何とか「彼ら、彼女らが笑顔になれるようなことが出来ないか。」と考え、今年度も料理教室の開催を決めました。感染防止としての手洗い、うがい、飛沫感染

防止に努めてまいります。今回のメニューは、チャーハンとスープ、そしてデザート。お楽しみに!!

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話:06-6152-7389 FAX:06-6152-7348】

お知らせ② 第12回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2021 日程を延期します

沢山エントリーいただき、またサポーターさんの皆さまには八木からのぶしつけなサポーターの願いをご快諾いただき有り難うございました。「第12回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2021」

にご参加の方には、封書で決定などをお送りさせていただきます。

今年は、当初は7月31日～8月1日に開催を予定していましたが、今の時点でリバウンドの状況も危惧されており、一旦開催日程を10月2日(土)～3日(日)に延期し、少しでも開催できる可能性を模索した次第です。

急遽の日程変更となりましたので、夏休みの思い出作りが秋のイベントになってしまい申し訳ございません。是非とも調整をいただき、新たな日程での宿泊体験にご参加賜りますようお願いいたします。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】



お知らせ③ 今年も大阪府庁庁舎管理課の実習に行つてまいります(8/2～6)



ハニー・ビーがNPO法人を取得してから、春先の期末に毎年お届けいただく「嬉しいご案内」、大阪府庁庁舎管理課の職場実習体験に今年も参加させていただけるとのこと、皆さまにもお知らせさせていただきます。

今年も、安心、安全な職場実習体験になるように、指導員も万全を期して準備を進めてまいります。まずはエントリーください。

そして事前打ち合わせ、職場体験当日が、またとない体験値の積み上げになるようにと願っています。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】

お知らせ④ 特定非営利活動法人ハニー・ビーの第12回定時総会が開催されます(6/24)

特定非営利活動法人ハニー・ビーは、今年も無事に定時総会を開催出来る運びとなりました。正会員、賛助会員の皆さま、ご支援いただき有り難うございました。2009年に法人化をして、今年の8月には丸12年を迎えます。コロナ禍においても「活動を進めていきたい」強い気持ちを持って、定時総会を6月24日に開催させていただきます。

2020年度の事業報告と決算報告・監査結果を審議いただき、また2021年度(令和3年度)活動計画を報告させていただきます。(ご承認いただきましたら、HPなどでもご報告させていただきます。)今年度もそれぞれの自立(自律)へと寄り添ってともに成長していきたい、「みんなにやさしい共生社会の実現」をめざして事業を展開してまいります。みんなを元気にする、イベントも開催します。

今年度も、あっという間に6月も下旬となりました。設立当初から掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」、本当に選ばれる独自サービスの提供が来ているか、職員全てが「お手伝いさせていただく喜び」を実感できているか、総会を目前に気持ちを引き締めて、利用者さんにとっての「一番」であるために、今年度もチャレンジを続けてまいります。

併せてホームページからも沢山の情報を元気に発信していきたいと思っています。どうぞ、ご高覧いただけたら幸いです。(ホームページ <http://www.honeybe.jp>)

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】



あとかき ワクチン接種に向けて

いつも最後までご拝読いただきありがとうございます。

今月20日には緊急事態宣言が解除され、まんえん防止等重点措置に切り替わります。どの様にわたしたちの日常生活は変わるのでしょうか?とはいえ、色々な制約がある中でオリンピックは開催され、ワクチン接種も高齢者を中心に加速度的に進められています。どんどんワクチン接種の幅も広がり、わたしたち福祉事業者も優先接種順位が高くワクチン接種の予約をしました。接種券が届いてから予約を取り、いざ接種となるのですが、「1回目より、2回目に症状が強くなる。」「接種箇所が腫れる。」などTV等で報道されていますが、個人差もあると言われており、実際のところ「まずは接種してみないと判らない。」ということでしょうか??

わたしたちは、利用者さんと接種出来るように予約のアクションを起こします。【八木 みどり 記】